



このマニュアルについて

Initial Release: May 5, 2008, OL-12586-02-J

概要

Cisco TelePresence Multipoint Switch (CTMS) は、マルチポイント (複数の場所) での Cisco TelePresence 会議の開催をサポートする目的で設計されています。最大 48 のテーブルセグメント (48 台の 1 画面システム、16 台の 3 画面システム、または両方が混在したシステム) を 1 つの会議に接続できます。表 1 に、CTMS の主な機能を示します。

表 1 CTMS の機能

機能	利点
スケーラビリティ	CTMS は、小規模なワークグループ アプリケーションから大規模な Cisco TelePresence マルチポイント会議まで対応できるようになっています。最大 48 のテーブルセグメントをサポートします。
簡単なスケジューリングと「ボタンを 1 つ押すだけ」のダイヤリング	CTMS と Cisco TelePresence System Manager (CTS-Manager) を統合することにより、企業のカレンダー機能 (Microsoft Outlook など) を使用してスケジューリングでき、ポイントツーポイント会議またはマルチポイント会議のどちらもボタンを 1 つ押すだけで開始できます。
スケジュール会議およびスケジュールされていない会議をサポート	会議の管理者は、アクティブな会議中に CTMS Administration ソフトウェアを使用して別のパーティを追加できます。
オーディオアドオン	CTS エンドポイントでサポートされるオーディオアドオン機能を使用してマルチポイント会議に音声のみの参加者を追加できます。
ビデオスイッチング	サイトおよびセグメントごとに音声起動式のビデオスイッチングをサポートしています。
ビデオによる通知	会議に参加すると、Cisco TelePresence の会議室は他のすべての会議室に 2 秒間表示されます。この機能により、消音された会議室が通知されずに参加するのを防ぎます。
包括的な診断	診断機能には、システム ステータス情報、アラーム、ダウンロード可能なログ、Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) のサポートが含まれます。
Call Detail Record (CDR; コール詳細レコード)	コールレコードにより、会議の開始と終了に関する情報および会議の参加者の詳細情報を提供します。

CTMS Release 1.1 の最新情報

サポート対象セグメントの数の増加

CTMS Release 1.1 では、単一の Cisco TelePresence 会議において、最大 48 のテーブル セグメント (48 台の 1 画面システム、16 台の 3 画面システム、または両方が混在したシステム) をサポートします。

Cisco TelePresence と従来のビデオ会議デバイスとの相互運用性

Cisco TelePresence は、SIP、H.264、AAC-LD、および G.711 などのオープンな標準に基づいています。Cisco TelePresence では、Cisco TelePresence System (CTS) Release 1.3 と CTMS Release 1.1 を組み合わせた場合、Cisco Unified Video Conferencing 3500 シリーズ MCU (CUVC) を使用して、Cisco TelePresence システムと従来のビデオ会議エンドポイントまたはビデオ テレフォニー エンドポイントとを相互運用できるようになりました。

システム要件

- Cisco MCS-7845-H2 Media Convergence Server または Cisco MCS-7845-I2 Media Convergence Server
- Cisco TelePresence Manager Release 1.3
- Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) Release 6.0 以降
- Cisco TelePresence System ソフトウェア Release 1.3
- CTS-1000 システムおよび CTS-3000 システムのいずれかまたは両方

『CTMS アドミニストレーションガイド』の構成

『CTMS アドミニストレーションガイド』は、次の各章で構成されます。

- 第1章：「CTMS Administration ソフトウェアの使用法」
CTMS Administration ソフトウェアのインターフェイスについて説明します。
- 第2章：「CTMS 用 Cisco Unified Communications Manager の設定」
CTMS の機能をサポートするための Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) の設定方法について説明します。
- 第3章：「CTMS Administration ソフトウェアのインストール」
Cisco MCS-7800 シリーズ Media Convergence Server への CTMS Administration ソフトウェアのインストール方法について説明します。
- 第4章：「CTMS Administration ソフトウェアの設定」
CTMS システムの初期設定の方法について説明します。
- 第5章：「会議の管理」
CTMS Administration ソフトウェアを使用した定例会議およびアドホック会議のセットアップ方法について説明します。
- 第6章：「CTMS システム プロセスの監視」
CTMS で使用可能なツールを使用した CTMS システム プロセスの監視方法について説明します。
- 第7章：「CTMS システムのトラブルシューティング」
システムのエラー メッセージおよびアラートの表示および分類の方法、ログ ファイルのフィルタリングおよびダウンロードの方法について説明します。
- 第8章：「従来のビデオ会議デバイスとの相互運用性」
Cisco TelePresence Interoperability をサポートするための Unified CM、CTMS、および Cisco Unified Video Conferencing MCU (CUVC) の設定方法について説明します。

技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ ガイドライン

技術情報の入手、サポートの利用、技術情報に関するフィードバックの提供、セキュリティ ガイドライン、推奨するエイリアスおよび一般的なシスコのマニュアルに関する情報は、月刊の『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。ここでは、新規および改訂版のシスコの技術マニュアルもすべて記載されています。次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

